

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)凸版印刷川口工場厚生棟	階数	地上2F
建設地	埼玉県川口市	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	150 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年6月 予定	評価の実施日	2020年7月10日
敷地面積	125,747 m ²	作成者	宮下陽
建築面積	1,759 m ²	確認日	2020年7月15日
延床面積	3,211 m ²	確認者	小池正浩



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 4
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 2
LR2 資源・マテリアル: 1
LR3 敷地外環境: 1

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.0

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
工場の厚生施設として、従業員が快適に使用できるように計画した。また、あわせて省エネルギーにも配慮した。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・トップライト・ハイサイドライトを設けることで自然光を取り込み快適な空間となるよう配慮した。 ・給排気はVC・ガラの面を変えることでショートサーキットを防ぎ、新鮮空気を取り入れられるよう配慮し	・非常用発電機による保安回路を計画することで、停電時に特定の機器は稼働できるように配慮した。	・歩行者が日陰を通ったり雨を防いで歩けるよう、建物周囲に庇を計画した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・外皮性能を向上させ熱負荷を削減しつつ、採光を取ることができるように食堂・更衣室ではハイサイドライトを小さく計画した。 ・中央監視システムに消費エネルギー量上げることでエネルギー管理がしやすいように配慮した。	・衛生器具はすべて節水型とし、節水に配慮した。 ・広く駐輪場を確保することで、周辺道路の混雑緩和に配慮した。	・敷地外に対し、漏れる光の量が多くなりすぎないよう、南西面の開口部は小さくなるように計画した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)凸版印刷川口工場厚生棟建設工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.2
Q1 室内環境							0.40			3.2
1 音環境						3.0	0.15			3.0
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40	3.0		
1.2 遮音						3.0	0.40			
1 開口部遮音性能						3.0	0.60	3.0		
2 界壁遮音性能						3.0	0.40	3.0		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	-	3.0		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	-	3.0		
1.3 吸音						3.0	0.20	3.0		
2 温熱環境						3.0	0.35			3.0
2.1 室温制御						3.0	0.50			
1 室温						3.0	0.38	3.0		
2 外皮性能						3.0	0.25	3.0		
3 ゾーン別制御性						3.0	0.38			
2.2 湿度制御						3.0	0.20	3.0		
2.3 空調方式						3.0	0.30	3.0		
3 光・視環境						3.8	0.25			3.8
3.1 昼光利用						3.8	0.30			
1 昼光率						3.0	0.60	3.0		
2 方位別開口							-	3.0		
3 昼光利用設備		トップライト・ハイサイドライト				5.0	0.40	3.0		
3.2 グレア対策						3.0	0.30			
1 昼光制御						3.0	1.00	3.0		
3.3 照度		総合事務室の照度は750lx以上確保				4.0	0.15	3.0		
3.4 照明制御		総合事務室は1作業単位でリモコンリレーによる制御				5.0	0.25	3.0		
4 空気質環境						3.3	0.25			3.3
4.1 発生源対策						3.0	0.50			
1 化学汚染物質						3.0	1.00	3.0		
4.2 換気						4.0	0.30			
1 換気量		居室の外気導入量は30CMH/人・hで計画				4.0	0.33	3.0		
2 自然換気性能						3.0	0.33	3.0		
3 取り入れ外気への配慮		南西から給気、北東・南東から排気しショートサーキットを防ぐ計画				5.0	0.33	3.0		
4.3 運用管理						3.0	0.20			
1 CO ₂ の監視						3.0	0.50			
2 喫煙の制御						3.0	0.50			
Q2 サービス性能							0.30			3.5
1 機能性						3.8	0.40			3.8
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40			
1 広さ・収納性						3.0	0.33	3.0		
2 高度情報通信設備対応						3.0	0.33	3.0		
3 バリアフリー計画						3.0	0.33			
1.2 心理性・快適性						4.6	0.30			
1 広さ感・景観		総合事務室の天井高2.8m、北西が全面窓				4.0	0.33	3.0		
2 リフレッシュスペース		リフレッシュスペースとして吹き抜け・自販機コーナー等設置				5.0	0.33			
3 内装計画		パース・模型にて詳細を検討、室用途に合わせインテリア・照明計画				5.0	0.33			
1.3 維持管理						4.0	0.30			
1 維持管理に配慮した設計		内装・外装ともに維持管理しやすいように配慮				5.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50			
2 耐用性・信頼性						3.2	0.30			3.2
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数						3.4	0.30			
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						3.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		高性能ポリエチレン管・塩ビライニング鋼管				5.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20			
2.4 信頼性						3.8	0.20			
1 空調・換気設備		サーバー室の空調・大会議室の換気などは保安負荷として計画				4.0	0.20			
2 給排水・衛生設備		工水の利用・節水器具の利用				4.0	0.20			
3 電気設備						3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法		耐震クラスA				4.0	0.20			
5 通信・情報設備		TVブースターは保安回路・通信は敷地内引き込み+別途引き込み				4.0	0.20			

3 対応性・更新性			3.3	0.30	-	-	3.3
3.1 空間のゆとり			4.2	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高4m以上	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.0
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI=0.75	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用		トップライト・ハイサイドライトの採用	4.0	0.10	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.72	3.8	0.50	-	-	3.8
4 効率的運用			3.5	0.20	-	-	3.5
集合住宅以外の評価			3.5	1.00	-	-	
4.1	モニタリング	中央監視にてエネルギー消費量を把握	4.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護			3.5	0.20	-	-	3.5
1.1 節水		節水器具の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.3	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無	エ水をトイレ洗浄水に使用	4.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.60	-	-	3.0
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.11	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		CO2評価値/参照値 = 80%	3.8	0.33	-	-	3.8
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐輪・駐車スペースの確保	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	南西面の窓面を少なく計画	5.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート



■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮称)凸版印刷川口工場厚生棟	BEE	1.5	BEEランク	★★★★
------	-----------------	-----	-----	--------	------

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
3.8	+	2.6	=	6.4	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上		
					

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.8
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.8
・建物運用時のエネルギー消費量を削減するよう、照明はすべてLEDとし、トイレ・更衣室は人感センサ連動とした。また、外皮性能を向上させた上で、空調機器は高効率機器を選定した。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.6
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	3.0
Q3 室外環境(敷地内)	3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2.2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0
・敷地内に緑地を計画した。			

: 入力欄